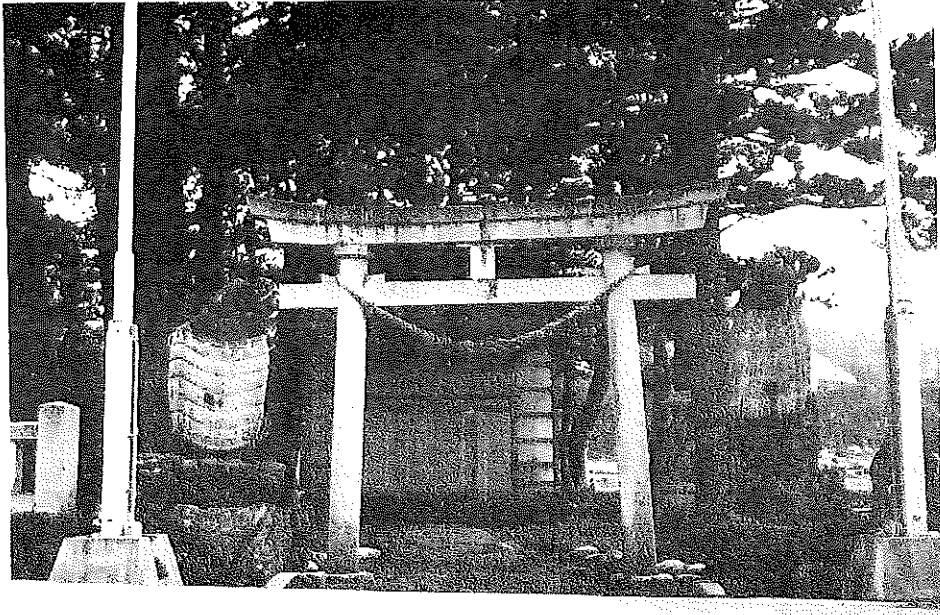


ハ乙女



雪のなき土産神に初詣

朝倉一結

迎春

青少年育成井波町民会議
南山見支部長

村田文夫

あけましておめでとうございます。

本年は巳年であり、古来、「へび」年は変化の激しい年と言われており、我々百姓にとっては最近言葉としてなくなりかけている「凶作」となる事が多いと聞いております。

「一年の計は元日にあり」

年のはじめは世界中の誰もが、しかも同時に新たな心で一年を夢見る機会だと思えます。

夢を見、それをやり終える時の「感動」が我々を支えているのではないだろうか。

一方的な言葉とは思いますが、私は「感動」と教えるのが親であり郷土であると思えます。

さて皆さん、子供達の初夢を聞いておやりになったでしょうか——。とかく何かを買ってほしい、どこかへ連れて行ってほしい、の形が多いと思えます。しかしながら子供達の物的夢の大半は情性に近く「感動」を呼びこめるものがよく見極め、その夢を健全に育ててやれる親、郷土でありたいと思えます。

陛下を案じながら迎えた巳年ですが、言葉を変えれば尚更に身を引締め、地区民、力を結集し——禍転じて福——としていきましょう。

事業の芯を作り得ず苦慮している町民会議ですが、本年もご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

「白へび」のように

松田 大輔(昭和52年生)



今年は何び年ではく何びです。へびはとも気持ちの悪いものですが、白へびは山の神、川の神、家の神と言われ、神の使者とも言われています。

ぼくは白へびのように、神に仕えるようになりつばな人間になりたいです。

ぼくはスポーツは大好きですが、水泳はきらいです。でも、練習して五十メートルは泳げるようになります。今年は何び年です。へびは上級生になるので、へびのように忍耐強く、学校の行事や活動に頑張りたいです。



私の年

久惠真琴(昭和52年生)



今年は何び年です。生まれて第一回目の巳年です。へびは、神

美を感じる心

横江 久子(昭和40年生)



一九八九年、元旦、巳年。二度目の年女となる年の幕開けです。

私は、二度目を迎える頃になってやっと、自分が本当に、やりたいと思うもの、真剣になれるもの、そして、楽しくてしかたがないものを見つけた事ができました。友達からは、よく「あんなっちゃあ、変っ

様のおつかいだと聞きました。

親切で、思いやりのある子どもになるよう心がけたいと思っています。

また、よく「へび年生まれだから、しゅう念深い」といわれますが、小学校最後の年を、勉強にも、にがてなスポーツにも最上級生として、しゅう念深く、この一年間を頑張りたいと思っています。

るね。」と言われるけど、私は、やさしものが、大好きです。

いろんな物を見、自分の手で作る事は、とても楽しいです。また、それを通して、今まで、なんとなく生活してきた、そのところどころに、心を動かされ、きれいな物を、本当に心の底からきれいだと思うことが、とても素敵な事だということに気づかされました。

今年は何び年、十二年に一度の自分の年、自分の目や手で、物を見、感じながら、自分の夢に向かって、歩き出していきたいと思っています。

子供達と共に

池田 澄子(昭和28年生)



今年は何び年、はや三回目の年女になります。新しい年を迎え、保母

さんになってからの十五年という年月を考えると、感慨もひとしおです。これからは、二十一世紀を担う子供達です。創造性豊かな思いやりのある子供達に育ててほしい……と考えると、改めて責任の重大さを痛感しています。

職場と家庭の往復で、自分の時間がなかなかないのですが、子育てのあい間に、心にゆとりを持って視野を広め、地域の活動にも積極的に参加し、子供達と共に、成長していきたいと思っています。



家庭の和

前川かをる(昭和4年生)



「たった一度の人生」もつたいないこの世に生まれさせていただき、

早や五回目の「えと」を迎えることができました。ただ唯「お蔭様」と感謝の気持ちで一ぱいでございます。振り返って見ますと新しい春になれば苗を育て、田植え、水廻り、そして秋の取り入れの成果に喜びを感じ、その年の苦勞を忘れる……単調な繰返しのなかに、ひたすら先祖からの田畑を、家族みんなで守ってきました。

楽しかったこと、嬉しかったこと、苦しかったこと、いろいろな思い出の中から、家中みんなが、心をあわせて家庭の「和」を守って来れたことが、何よりの幸せであり、喜びと思うこの頃でございます。これからも孫達の成長を楽しみに、孫と一緒に仲よく、一日一日を、心豊かに送りたいと思っております。

巳年に想う

藤井菊一郎(大正6年生)



私は大正六年生れの巳年です。まだ春浅き野道に、冬眠から十分

醒めやらぬ長虫をみることもある。途端に巳年生れの自分の仲間と思えば愛情がわく。土と取り組むこと五十余年、何一つ世の役に立たない私には、過ぐる日の戦争体験と大地の生命力の偉大さを痛感するのみです。昔から巳年生れの人は忍耐力が強く、古里の村づくりにも多大の功績を残された今は亡き大人物が幾人もおられる、これも皆巳年生れである。

農は国の大本と謳われ一粒でも増収をと、農民意欲を燃やした時代が懐かしい。今は転作止むを得ずしても折角の美田をつくり乍ら、何か物足りなさがある。今日の価値観多様化時代に農業を唯単に経済的尺度で計ることなく視野を大きくしたい、物を言わない大地から教えられるもの、そして大自然が朝夕常に教えてくれるものと、もう一度原点に立つ

てよく考え直してみたい。個性的忍耐力の強い今年の巳年生れの新生児達が沢山生れることを期待します。今年も健康で大自然の四季を楽しみ乍ら、神佛のご加護に感謝し土と戯れたいものです。

責任を持った行動

森 千恵子

私は、自分が大人になっても、立派にやっていけるのだろうか心配したことがあります。

高校生の頃は親の保護下で、のんびり過ごしたような気がします。短大へ行くことになり、親元を離れての生活は、すべて自分のことは自分でしなければならず、今までの甘えてきたことが痛感させられました。寮生活では、いろいろなことを学んだと思います。

一つには、相手を理解し、その人の気持ちになって考えるということ、そしてもう一つは、自分の言動に責任をもつということです。

高校を卒業して、すぐ就職された方は、会社の厳しさを十分わかっていらっしゃると思いますが、私は今、二十才として成人式を迎え、今までの浅い経験をもとに、何ごとにも責任をもって行動していきたいと考えております。

ご成人おめでとう

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|---------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 南山見団地 | 院 瀬見二区 | 院 瀬見四区 | 東 城 寺 | 戸 板 | 今 里 | 川 原 崎 | 沖 | 富 田 | 森 千 恵 子 | 山 崎 茂 樹 | 直 江 裕 之 | 横 江 敏 子 | 箭 原 吉 朗 | 高 戸 進 香 | 滝 田 幸 秀 | 山 本 幸 秀 | 須 川 千 亜 紀 | 須 川 淑 美 | 長 田 晃 晃 | 山 本 陽 子 | 小 林 陽 子 | 篠 原 正 之 | 田 中 光 仁 | 松 田 光 恵 | 山 田 陽 子 |
| 連代寺 | 志観寺 | 福 村 和 美 | 山 崎 小 百 合 | 石 黒 成 臣 | 村 松 輝 智 | 村 田 文 裕 | 富 田 知 子 | 森 千 恵 子 | 山 崎 茂 樹 | 直 江 裕 之 | 横 江 敏 子 | 箭 原 吉 朗 | 高 戸 進 香 | 滝 田 幸 秀 | 山 本 幸 秀 | 須 川 千 亜 紀 | 須 川 淑 美 | 長 田 晃 晃 | 山 本 陽 子 | 小 林 陽 子 | 篠 原 正 之 | 田 中 光 仁 | 松 田 光 恵 | 山 田 陽 子 | |

南山見地区文化祭盛況

「みんなで文化の輪を広げよう」を相言葉に行われた地区文化祭も回を重ねて十一回、ますます盛り上がりを見せ、当日は好天にも恵まれ朝から会場に溢れんばかりに参加者が詰めかけ、成功裡に終了致しました。しっかりと根を下ろした展示作品、農産物、民謡などバラエティと演目も増えた舞台発表。地区内産品の即売、うどん、喫茶等バザーには和やかな笑顔が溢れ、地区の絆が一段と強められたようです。

昭和63年度農産物品評会 (入賞者)

大根	亀田博信	馬鈴薯	高橋豊一
キャベツ	中村美津夫	柿	松田ふぶ子
白菜	前田智恵子	柿	篠原笑弥
長芋	武田愛子	黒豆	岩崎中正
里芋	山崎俊樹	小豆	田中

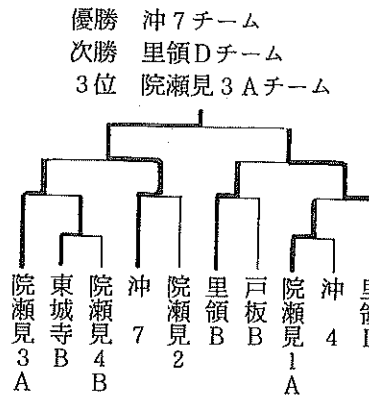
いきいきグループ紹介

戸板青年会

戸板青年会は、四十二才までの十二名で構成されています。主な行事としては、町議と語る会、花見、労働奉仕、一泊研修、各種スポーツ大会への参加などが挙げられます。

その中でも特筆すべきことは、共有田を利用し米作りをしていることです。忙しいあい間をぬって、会員全員で協力し、田植から稲刈りに至るまでを行っています。しかし殆どの者が、自分の家にも田んぼがあり、青年会の田んぼが二の次になるためか、収穫の方は、いま一步のようです。若い会員の中には、家の田んぼ

第五回 ビーチバレーボール大会



リーダー研修に参加して

六年 須川 栄一

八月二十三日から八月二十四日、砺波青少年の家で富山県みどりの少年団のリーダー研修でぼくは、緑の大切さを学び、各団との交流を深めること、リーダーとしての役割を学びました。森林の大切さについて

- 一、空気を作ること。
- 二、山くずれを防ぐこと。
- 三、水をためておくこと。

を学び山に木がなければ、空気や水がぼくたちにとって大切なことを

をあまり手伝わないので知らないことが多く、稲作りの仕方や技術を学ぶ場ともなっています。また作業は朝ばかりでなく、朝・晩二回に分けるなどして、できるだけ多くの人が参加できるようにしています。

スポーツ大会では里領と連合で出場することが多く、ソフトボールなどで優秀な成績を収めてきました。

今後は、会員相互の協力で、生き生きとした青年会を目指していきます。

理解することができました。

その後、各団の発表があり、キャンプファイヤーで、おどり・クイズなどいろいろあつて、とても楽しかった。それから二十四日には、頼成の森にゆき、杉・木の成長のことや、植物の名前、働き、季節によって成長するとき、しないときが年輪でわかることを知りました。ぼくたちの緑の少年団でも、山に杉が植えてあります。肥料をやったり、大人の人たちといっしょに手入れをします。ぼくが五十才か六十才頃になるとどのくらい大きくなるのか楽しみです。

ご寄付

ありがとうございます

公民館備品費へ 二万円
昭和六十三年度婦人部ご一同様

後記

年が改まり千支(エト)では巳日(のちのとみ)。「乱れを正し立ち直らせる調整の年」だそうす。「モノ」がなんとか豊かになり、代って心のゆとりが失われヒズミが目立つと言われる昨今。「昭和」をふり返って「平成」にいかにか生かしていくかを考えたいものです。

初夢もなき軒雀とほれけり
◇(お断り)で依頼の原稿は天皇崩御前にいただいたものがあります。

波郷 一く